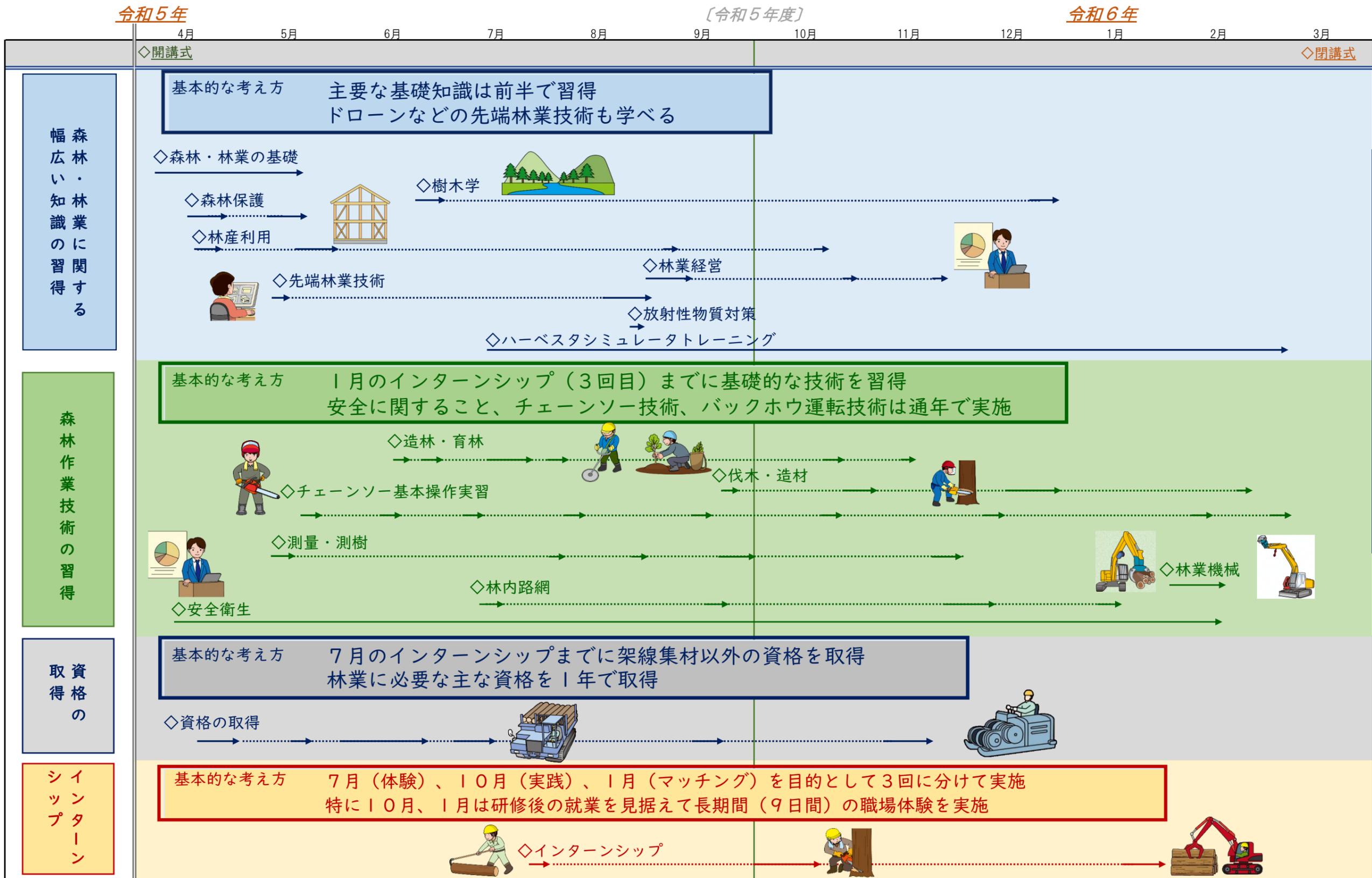


令和 5 年度就業前長期研修運営状況

林業アカデミーふくしま 長期研修カリキュラムの基本的な考え方と年間スケジュール

基本的な考え方（共通） 「安全」を最優先としたカリキュラム（一年間を通じて安全教育を実施）
 「適期」の研修を実施するとともに、各研修の「つながり」を意識
 「自己啓発」（自主学習）の時間（年間82時限）を設け、研修生の主体的な学習を促進





大槻 学
(宮城県登米市出身)

前職の飲食業はコロナ禍により、非常に大きな影響を受けました。そのような中で家族や自分の将来を考え、前職が一生続けられる仕事なのかと悩みました。

そんな時、林業アカデミーふくしまの募集ポスターが目にとまり、気になって詳しく林業の内容を調べてみました。調べていくうちに林業が社会的に重要な役割を担っていることに気付きました。

地球環境、特に山の管理が水資源の保全に欠かせないこと、自然災害を防ぐことを知り、これからの自分が携わっていく仕事へのやりがいにつながると確信しました。

新しいスタートを切るにあたり、安全第一を意識しながら林業に関する正しい知識を身につけたいと思っています。また、新しい仲間とコミュニケーションを取り合って福島の林業の明るい未来を担う一員になりたいです。



郷 政時
(石川町出身)

私は、小さい頃から緑に囲まれて育ってきたことから、林業が森を守る仕事と聞き、興味を持ちました。そして、オープンキャンパスなどでこの林業アカデミーふくしまを知り、入講しました。

まだ一カ月しか経っていませんが、四月の研修で林業には現場でしか分からないようなことがあると知りました。私と同じように森林に興味がある皆さんも一度林業の現場に足を運んでみて下さい。

私は、この一年を通じて、林業の魅力を再発見し、皆さんにそれを伝えていけるようになりたいと思っています。



佐藤 薫
(伊達市出身)

私には、社会に貢献していることを肌で実感できる仕事に就きたいという思いがあります。中でも林業は、日本の環境や燃料問題の一翼を担い、気候、生態系を保全し、文化を守り進化させていく仕事だと感じています。

林業アカデミーふくしまで、ハーベスタのシミュレーショントレーニングやドローンなどの先進技術とともに、しっかりと植林・造林方法や伐採技術等の基礎的な分野も学ぶことで、就業後は今と未来を繋げたいという強い使命感を持ち、社会の一角を照らすような林業従事者になりたいと考えています。



佐藤 貴輝
(郡山市出身)

私は、昔から身体を動かすことがとても好きで、自分に合った仕事は身体を動かす仕事ということを理解しており、今まで自衛官や土木作業員として働いてきた経験を活かせる仕事を探していました。

まだ四月ですが、林業とは、木を育てて森を作り、木を伐採し、売却して流通させる産業であると学びました。また、林業の仕事は、伐採した場所に新たに苗木を植え管理していく仕事のほか、木材をペレットや薪等の燃料として使用できるように加工して販売する仕事、など、様々であり、とてもやりがいがあると感じました。

今後は森林資源の循環の仕組みの確立及び長期的な森林の管理をしっかりとして学び、技術を身に付け、一人前の林業従事者を目指して頑張りたいと思います。



塩田 天空
(福島市出身)

両親と共に河川敷を歩いていると、すぐそばで大きな枝が根元から落ちて来て危うく下敷きになりそうになった、という経験をしたことがあります。

親や祖父母の影響で幼い時から林業や環境への関心は強かったのですが、その出来事に遭ったからこそ、「辛い」「苦しい」と言われる林業の世界に飛び込んでゆく決心がついた気がします。

大学に進学して研究職に就くという手段もありましたが、人手が明らかに足りていない現場に直接立って自分の手でどうにかしたいと考えてアカデミーに応募しました。

ここで林業の基礎的な知識を身につけると共に様々な人に林業の事をもっと知ってもらおう為のヒントを見つけないかと思っています。



清水 聖矢
(天栄村出身)

私の長所は最後まで諦めずに頑張ることができるところと、体力に自信があるところです。また、自然の多い環境で育ったために、以前から体を動かす仕事、自然と関われる仕事に就きたいと考えていました。

中学二年生の時にある林業会社を見学したことをきっかけに、林業関係の仕事に強く関心を抱くようになりました。見学では、チェーンソーを使って木が伐採され、非常に細かくきれいに加工されていく様子を見て、林業にさらに魅力を感じました。詳しく調べていく中で、現在の日本は林業従事者が年々減少し、深刻な人手不足に悩まされていることも知り、福島県の林業の発展に貢献したいという気持ちも強く抱くようになりました。そのためにも、この長期研修によって林業に関する専門的な知識や技能、技術を早期に習得したいと考えています。



鈴木 瑞樹
(福島市出身)

私は、高校の恩師の勧めでオープンキャンパスに参加し、説明を聞いたり、PR映像を見たりして、林業の魅力を知りました。また、体力や忍耐力に自信があるため、体を動かす仕事してみたいと考えていたこともあり、アカデミーに入講することを決めました。

一年という限られた時間の中ではありますが、林業アカデミーふくしまで可能な限りの知識と技術を学び、長く現場に出られるようなチェンソーマンになりたいと思っています。



瀬谷 光広
(石川町出身)

私は、「自然の中で生きていく」という自分の目標としているライフスタイルを実現させるために林業を生業にしていきたいと考えています。そのため、様々な知識や技術とその基礎をしっかりと学ぶ必要があると感じ、それを実現できる環境だと感じた林業アカデミーふくしまに入講しました。

特に、重機やチェンソーは作業の中でとても大切な手段だと考えており、その仕組みと実際の使い方、付き合い方をしっかり覚えて活かしていきたいと思っています。

危険も多いと思いますが、基本を守り安全に作業することで自然の中で活動する楽しさを広げていきたいと考えています。



田村 愛翔
(郡山市出身)

私は、元々自然が好きであり、楽しそうだなと感じたことから、林業に興味を持ちました。

きっかけは、自然に触れ合える仕事を探している時、高校の担任の先生にこの林業アカデミーふくしまのパンフレットをもらったことです。詳しく調べて行く中で林業の現状を知り、この問題を解決していくことが福島の復興にも繋がると思い、「自分はここに行って社会に貢献したい。」という大きな目標が出来ました。インターンシップに行った時は何か自分だけしか居ないという珍事件が起きましたが、職員さん全員が真剣に仕事をしていて林業はとても重要な仕事なのだと思い教えてくれました。

限られた期間ですが、この一年間で精一杯知識や技術を学んできていくと思います。



本田 健人
(福島市出身)

私は、将来自然と関わる職業に就きたいと思い、アカデミーに入講しました。

以前は、製造業に就職したいと思っていましたが、私は室内の単純作業では続かないと思い、好きな自然の中で仕事をしたいと考え直しました。

自然の中で働く職業はほかにもあります。その中でもなぜ林業を選んだのか、それは、広大に広がる森林を目にしたとき感動と好奇心が溢れてきたからです。そのため、私は森林で働きたいと思い、より林業の知識を得るために林業アカデミーふくしまを志望しました。そして、私は将来、林業の楽しさや危険性を自ら体験し、今の林業という業界をより多くの人に伝え、興味を持ってほしいと思っています。



緑川 海斗
(棚倉町出身)

私が林業アカデミーふくしま就業前長期研修を受講しようと思ったきっかけは、就職先である東白川郡森林組合です。

元々森林組合へは事務として入る予定でした。しかし、この研修の話を聞いて、林業関連に就職するのにも関わらず私自身は林業に関しては何も知らない素人だということに気づき、一年間という短い期間ですが、林業を学びたいと思い、受講させていただくことになりました。

私の今後の抱負としては、一日一日の研修を大切にし、学んだことを一年後働き始めた時に活かせるように、毎日休まず研修を受けていきます。福島県の林業の未来を担う者として恥じぬよう一年間頑張ります。



武藤 唯
(二本松市出身)

「売れないから、手入れするだけ赤字だ」

祖父がボソツと呟いた言葉が頭から離れず、大学で建築を専攻していた私は、卒業設計で福島の林業と建築について考えました。調べるだけ林業の大切さと面白さ、沢山の課題も知ることができました。

大学卒業後はリフォーム会社で働いていましたが、実際に大量かつ多様に木材が使われている現場を目の前にして、産地は重要視されていないこと、ウッドショックで木材の価格は高騰しても需要はしっかりあることなど、林業と木材の消費の部分での空白を感じておりました。

全国の林業について改めて調べ、林業の第六次産業化に興味をもち、地元での可能性の追求と人手不足の貢献に少しでも力になりたいと思い、知識・技術・資格を深く学べる林業アカデミーに志望しました。

今後は、林業の可能性を考えながら林業従事者の一人として、祖父たちが守ってきた山を守り続けていけるような人になるため、日々の学習に精進していきます。



安田 周知
(福島市出身)

私が生まれ育った地域では三十年以上に渡り、環境保全活動を行っています。それによって自然と幼少期から里山保全の意識が形成されました。高校では土木分野を専攻し、環境整備や自然災害から人々の生活を守る減災への取り組みに携わる仕事に、深く興味をもつようになりました。

林業は、数十年あるいは百年以上と、とても長い年月を要する産業です。現在は丸太生産だけでなく、環境保全機能が発揮できる等の林業が果たす役割、そして多様な森林づくりが模索されています。

林業アカデミーふくしまでは、林業の基礎的な知識から、チェーンソーや機械化が進む林業に必要な高性能林業機械の資格取得など、専門的な技能も学ぶことができます。

私はこの一年間で学ぶ事をしっかりと身に付け、停滞している福島県の林業を振興させ、未来につながる森林づくりに携わる林業従事者になるために、安全第一・健康第一に取り組んでいきます。



山田 聡一郎
(福島市出身)

私は前職の製造業にて購買・総務などの仕事を約一六年していましたが、このままずっとこの仕事をし続けていいのか？とふと疑問に思い以前から興味があった林業に転職したいと考えていました。

林業を調べていくうちに「林業アカデミーふくしま令和5年度研修生募集」にたどり着きコレだ！と思い応募しました。

林業は他の産業と比べ労働災害の発生率・死亡率も高いですが、実習を通してチェーンソー・林業機械等の正しい使用方法・メンテナンス、安全管理・対策をしっかりと学び、また、先端林業技術・高性能林業機械運転技術を習得して、県内林業の生産性・安全性向上に貢献できる人材になりたいと思っています。



吉田 香織
(田村市出身)

私は前職で森林に関わる業務に携わり、林業に興味を持ちました。そこに林業アカデミーふくしまの「来たれ、仙人掌」というチラシに目を惹かれ、受講することに至りました。

それは直接、林業事業体や組合に就職し緑の雇用を受けながら仕事を
する選択肢もあり正直迷いましたが、一年間研修を受け、林業に関して
の知識や技術、資格を習得し、福島県の林業の歴史や原発事故による影
響などの背景を知った上で林業に臨みたいと考えたからです。

研修後には地元の田村市に就林したいと考えています。森林が豊かな
田村市を林業で盛り上げ、森林の役割や林業という仕事をもっと多くの
人に知ってもらい、関心を持ってもらえるような情報発信もしていきたい
です。

社会人になってから一から丁寧に教わるという機会はなかなかないので、この学べる環境に感謝しながら一年間研修を受けたいです。



渡部 諒豊
(二本松市出身)

近年「木の家」の志向の高まりなどによって需要が伸びる林業。しかし
担い手不足が課題になっている。そこで、私は林業の課題だけではなく
林業の魅力を発信し世の中に広め、林業を「身近」な職業にし、魅力を
沢山の人が知ってもらい、日本の山林をより豊かで素晴らしいものにし
ていきたいと考えています。

そのためにも伐倒や植林等についての知識や技術の基礎的なことはも
ちろん、資格やインターンシップなどの研修を通して、林業が抱える課
題やICTなどを活用するスマート林業などのアカデミーで学べること一
つ一つを大切に、自分の目標のためにも、そして福島県の山林のため
にも、頑張ります。

研修の様子（令和5年4月から7月）

○4月の研修内容

4月第一週目は、林業に携わるうえで基本となる知識の習得と、実際の林業の現場視察を行いました。

同僚や上司と仕事を円滑に進めるためのコミュニケーションスキルや、森林・林業の基礎知識、林業労働災害の現状やその防止について、そして鉋、鋸などの手道具の扱い方を学びました。また、石川町と白河市で伐採と地拵えの現場を視察しました。

第二週目は、実習が増え始めました。敷地内でのきのこ植菌体験のほか、「伐木等業務に係る特別教育」及び「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」を受講し、資格を取得しました。

4月最後の一週間は、林業の事故事例について学び、救急法基礎講習を受講しました。また、気象害や病虫獣害について知識を深め、妙見山実習フィールドでシカ害防除現場を視察しました。最終日には多くの事業者にご参加いただき、就職ガイダンスを行いました。研修生は就職を意識しながら意欲を高めることができました。今後の研修では一つ一つ知識を深めるとともに、実習を通して技能の定着を目指します。



伐採現場を視察する研修生たち

○5月の研修内容

「救命訓練」の講義では、救急員養成講習を受講し、三角巾による止血法や患部の固定法などを何度も繰り返し練習しました。筆記と実技の試験では、全員が無事合格することができました。

「立木調査」の講義では、樹高や胸高直径を測定し、それを集計するための方法を学びました。森林の現況を知ることは、今後必要な施業内容や、施業を実施するための具体的な計画を立てるために不可欠です。

「安全の基礎」等の講義では、キックバック装置や枝落下装置を用いて事故を擬似的に体験することで、安全な行動や装備を身につけることの重要性を再確認しました。

木材関係の講義として、「木材流通概論」「原木市場」「木材加工」「木造建築」「木質バイオマス利用」の講義を一週間かけて受講しました。流通の仕組みや木材の構造や特性、部材への利活用、バイオマス発電の原理やチップの利用など、座学はもちろん、原木市場や集成材工場、木造建築物、チップ工場、バイオマス発電所等の見学を通して学びました。研修生たちは、座学で学んだ内容を現地見学で活かすことで、より理解を深めていました。



原木市場を見学する研修生

○6月の研修内容

「車両系建設機械運転技術」の講義では、山で切った木を市場などに搬出するための道を作るのに必要なドラグショベルなどの重機の運転技術を学びました。

「不整地運搬車運転技術」の講義では、資材の運搬作業を行うための不整地運搬車の運転技術を学びました。「小型移動式クレーン運転技術」の講義では、木材の積み込み業務などに必要な、

小型移動式クレーンの運転及び操作方法を学びました。

「走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎」の講義では、フォワーダやフェラーバンチャ、スイングヤードなどの操作方法を一人ずつ教わりました。木材の積込みや走行、積下ろし、また立木を掴む等の操作、そして講師が張っておいてくださった架線をお借りし、搬器の操作等を体験しました。

「樹木学」の講義では、妙見山実習フィールドにあった約30種類の樹木の名前と特徴を学びました。

最後の週は、「造林・更新」「下刈り、つる切り、除伐、枝打ち」「間伐」の講義を四日間かけて、数十年にわたる森林施業の一連の流れを学びました。皆伐した後の地拵えや植え付け、苗木の生育を補助するための下刈りやつる切り、雑灌木や不良木を伐る除伐や無節材を作るための枝打ち、そして林木の密度を減らして質の良い材を育てるための間伐など、しっかりとしたイメージを持って作業に取り組むことの重要性を学びました。



フェラーバンチャを操作する研修生

○7月の研修内容

「玉掛け技術」の講義では、三日間にわたり玉掛け技能講習を受講しました。9月に学ぶ架線集材では木材にワイヤーをかけて集材するため、この資格が必要になります。「林内路網（バックホー基本操作）」では、先月資格を取得して扱えるようになったバックホーの操作実習を行いました。感覚を掴むために基本操作を何度も繰り返し、また急傾斜の登り降りも練習しました。

「下刈り」では、敷地内の平地と現場で実習を行いました。平地で基本動作を身につけたあと、現場に即した環境で、足の運び方や刈払い機の扱い方など、実践的な操作に苦戦しているようでした。下刈りなどは夏場に行われるので、こまめな休憩や水分補給の大切さに加えて、真夏の作業の厳しさを実感しました。「つる切り、除伐、枝打ち」の実習では、下刈りと併せて現場で行いました。鉋や鋸などの手道具の使い方を学びました。「育苗」の講義では、苗木生産の一年間の流れや、樹種とその用途について学びました。

今月はインターンシップに向けて「チェーンソー伐木造材技術」の講義を5回行い、技術の向上を図りました。FLCの基準を使って、伐倒方向に狙いを定めて受け口や追い口を作り、受け口の角度やつる幅などを計測することで精度を高めました。

「ハーベスタシミュレータートレーニング」の講義では、基本操作に慣れるとともに、実際の現場において注意すべきことなどを意識しながら練習しました。

最後の週は、三日間「就業体験（インターンシップ）」を県内の森林組合や林業事業体で行いました。研修生一同多くの課題を発見し、終了後にはお互いに体験した仕事や技術的にご指導いただいたことを共有して学びを深めていました。



ガンマークで伐倒方向を確認する研修生

4月

令和5年度

5月

日\時間		1	2	3	4	5	6	7	短期研修	日\時間		1	2	
1	土									1	月			
2	日									2	火			
3	月									3	水			
4	火									4	木			
5	水									5	金			
6	木									6	土			
7	金	51 オリエンテーション(研修要領・施設・設備の使い方)	51 オリエンテーション(開講式)	51 オリエンテーション(施設・設備の見学等)						7	日			
8	土									8	月	39 救命訓練		
9	日									9	火	39 救命訓練		52 社会人教養(自己啓発)
10	月	52 社会人教養(コミュニケーションスキル)								10	水	33 周囲測量(地図の見方、測量基礎知識、GNSS操作)		
11	火	1 森林・林業の基礎(日本の森林と森林の役割、森林を育てる木を収穫するほか)			1 森林・林業の基礎(基礎知識、構造と発達段階)					11	木	32 立木調査(標準地の取り方、直径の測り方、樹高の測り方、林分材積の計算)	52 社会人教養(自己啓発)	森林整備事業の実務
12	水	37 安全の基礎(災害の現状、衛生法)			37 安全の基礎(ヘビ、ハチ等危険性)					12	金	32 立木調査(プロット調査実習)		
13	木	2 林業の仕事(主な諸団体、森林組合視察、民間林業経営体視察)								13	土			
14	金	3 林業の手道具(刃物の基礎知識、手道具の用途と使い方)								14	日			
15	土									15	月	19 森林3次元計測技術(レーザーによる測量・計測・航測、システムを用いた森林調査)		
16	日									16	火	6 森林保護(間伐手遅れ林分、ナラ枯れ被害地等現場視察等)		
17	月	12 きのご生産(概要、生態、生産方法)			12 きのご生産(植菌作業体験実習)					17	水	37 安全の基礎(キックバックと枝落下衝撃シミュレーション)	38 労働災害対応	
18	火	40 刈払等業務の基礎						52 社会人教養(自己啓発)		18	木	1 森林・林業の基礎(福島の森林と林業の成り立ち、震災と原発事故の影響ほか)	1 森林・林業の基礎(森林の環境)	
19	水	41 伐木等業務の基礎								19	金	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)		
20	木	41 伐木等業務の基礎												
21	金	41 伐木等業務の基礎			52 社会人教養(自己啓発)									
22	土													
23	日													
24	月	37 安全の基礎(事故の事例研究)			39 救命訓練(基礎講習)									
25	火	6 森林保護(気象害、病虫獣害の種類と特徴、防除方法)			6 森林保護(シカ害防除現場視察)									
26	水	52 社会人教養(自己啓発)								26	金	10 木造建築(構造・構法、木質化、木材利用の歴史と文化)	10 木造建築(公共木材利用施設視察)	
27	木	52 社会人教養(自己啓発)								27	土			
28	金	50 就業体験(就職ガイダンス)								28	日			
29	土									29	月	43 車両系建設機械運転技術		森林土木事業の実務
30	日									30	火	43 車両系建設機械運転技術		森林土木事業の実務
										31	水	43 車両系建設機械運転技術		

凡例

- オレンジ色 : チェーンソー・伐倒実習等
- 黄色 : チェーンソー練習
- 赤色 : プロによる指導
- 青色 : 路網作設実習
- 水色 : バックホウ練習
- ピンク色 : 改善を行った講義

改善内容：バラバラに行っていた講義を関連付けて学ぶことで効果を上げる

地図の見方・測量を基礎を学んだ上で森林調査や測量実習を行い、併せて最新の森林調査技術を学んだ

危険生物に関する講義を実施

改善内容：定期的に現場のプロの指導を受けることで技能の定着を図る

4月にチェーンソーの資格取得後、はじめての自主練習時に現場のプロによる指導を受けた

就業ガイダンスを実施

6月

日\時限	1	2
1 木	43 車両系建設機械運転技術	
2 金	43 車両系建設機械運転技術	
3 土		
4 日		
5 月	43 車両系建設機械運転技術	52 社会人教養(自己啓発)
6 火	44 不整地運搬車運転技術	測量・森林調査の基礎
7 水	44 不整地運搬車運転技術	測量・森林調査の基礎
8 木	44 不整地運搬車運転技術	52 社会人教養(自己啓発)
9 金	45 小型移動式クレーン運転技術	
10 土		
11 日		
12 月	45 小型移動式クレーン運転技術	
13 火	45 小型移動式クレーン運転技術	
14 水	24 刈払機の取扱と安全性の追求 27チェーンソーの取扱と安全性の追求	
15 木	27 チェーンソーの取扱と安全性の追求	
16 金	27チェーンソーの取扱と安全性の追求	
17 土		
18 日		
19 月	42 走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎	
20 火	42 走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎	
21 水	42 走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎	
22 木	42 走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎	
23 金	42 走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎	
24 土		
25 日		
26 月	5 樹木学、樹木調査(樹木の特徴と分類、代表的樹種の特徴)	5 樹木学、樹木調査(樹木識別(葉・樹皮))
27 火	23 造林・更新(座学)	
28 水	25 下刈り、つる切り、除伐、枝打ち(座学)	
29 木	26 間伐(間伐の目的と必要性～混み方の指標)	
30 金	26 間伐(定性間伐林分の立木評価)	

凡例

- オレンジ色: チェーンソー・伐倒実習等
- 黄色色: チェーンソー練習
- 赤色: プロによる指導
- 青色: 路網作設実習
- 水色: バックホウ練習
- 緑色: 改善を行った講義

7月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	短期研修
1 土								
2 日								
3 月	46 玉掛け技術							
4 火	46 玉掛け技術							
5 水	46 玉掛け技術							
6 木	36 林内路網(バックホー基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
7 金	36 林内路網(バックホー基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
8 土								
9 月	47 ロープ高所作業技術							高性能林業機械の操作
10 日	25 下刈り(下刈り実習)							
11 月	25 下刈り(下刈り実習)							
12 火	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
13 水	25 つる切り、除伐、枝打ち等(除伐実習)							
14 木	25 刈り(下刈り実習)							
15 金								
16 土								
17 日								
18 月								
19 火	48 フルハーネス型安全帯使用作業							52 社会人教養(自己啓発) 森林経営管理制度の実務(市町村)
20 水	22 育苗(苗木の生産方法、特徴、生産現場視察)							森林経営管理制度の実務(市町村)
21 木	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
22 金	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							
23 土								
24 日								
25 月	52 社会人教養(ビジネスマナー実習)							路網整備と作業システム(基礎)
26 火	37 安全の基礎(危険予知ミーティングとリスクアセスメント、事故発生時の緊急連絡)	37 安全の基礎(リスクアセスメント実習)				50 就業体験(インターンシップ)		路網整備と作業システム(基礎)
27 水	50 就業体験(インターンシップ)							
28 木	50 就業体験(インターンシップ)							
29 金	50 就業体験(インターンシップ)							
30 土								
31 日								
1 月	50 就業体験(インターンシップ; 面談、礼状作成、発表)							

改善内容: 効率的に研修を実施する

バックホウ練習班とチェーンソー練習班を分けて実施することで研修生の待ち時間短縮等効率的な実習を行えるようになった

改善内容: 重機操作の練習時間を設けることで技能の定着を図る

5月に資格取得したバックホウの操作技術定着のため基本操作実習を行った

改善内容: 自主学習を効果的に行うことで技能の定着を図る

7月の自主練習に向け現場のプロによる自主練習の課題や心構えについて指導を受けた

課題を持ってチェーンソーの自主練習に取り組み、技能向上を目指した

8月

日\時限	1	2
1 火	33 周囲測量(コンパス測量実習)	
2 水	26 間伐(選木実習)	
3 木	26 間伐(選木実習)	
4 金	26 間伐(選木実習、樹高の測定と伐倒危険範囲、重心の見方と伐倒方向の決め方)	
5 土		
6 日		
7 月	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)	
8 火	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)	
9 水	37 安全の基礎(リスクアセスメント実習)	52 社会人教養(自己啓発)
10 木		
11 金		
12 土		
13 日		
14 月		
15 火		
16 水		
17 木		
18 金		
19 土		
20 日		
21 月	15 林業経営の基礎(林家、森林組合、林業事業者への聞き取りまたは現	管理制度(事業者)
22 火	52 社会人教養(自己啓発)	
23 水	15 林業経営の基礎(林業経営の概要、林家、森林組合、林業事業者へ	
24 木	52 社会人教養(自己啓発)	
25 金	21 放射性物質対策	
26 土		
27 日		
28 月	17 林業ICTと森林GISの基礎(情報通信技術、GISの基礎、オープンデータ活用、GIS実習)	
29 火	17 林業ICTと森林GISの基礎(GIS実習)	
30 水	33 周囲測量(GNSS操作)	
31 木	18 ドローン技術(空撮・情報取得・物資輸送、ドローン実習)	

凡例

- オレンジ色 : チェーンソー・伐倒実習等
- 黄色色 : チェーンソー練習
- 赤色 : プロによる指導
- 青色 : 路網作設実習
- 水色 : バックホウ練習
- ピンク色 : 改善を行った講義

改善内容：早期に立木伐倒の経験を積みその後の自主練習へ反映することで技能向上を図る
現場のプロの指導のもと立木を伐倒する経験積むことができた。
これらの経験を生かしながら継続してチェーンソー技能を向上させていく

改善内容：バラバラに行っていた講義を関連付けて学ぶことで効果を上げる
8月上旬に行った周囲測量結果を活用して林業ICTや森林GISなどを学ぶことで実際の作業と最新技術との関連を学ぶ

9月

令和5年度

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	短期研修	
1 金	14 桐・漆生産(漆生産の概要と特徴、漆の生産現場視察)								
2 土									
3 日									
4 月	15 林業経営の基礎(林家、森林組合、林業事業者への聞き取りまたは現地視察)								提案型集約化施策実践
5 火	52 社会人教養(自己啓発)								提案型集約化施策実践
6 水	49 架線集材								提案型集約化施策実践
7 木	49 架線集材								提案型集約化施策実践
8 金	49 架線集材								
9 土									
10 日									
11 月	49 架線集材								
12 火	49 架線集材								伐倒技術のチェックと改善
13 水	49 架線集材								伐倒技術のチェックと改善
14 木	49 架線集材								伐倒技術のチェックと改善
15 金	49 架線集材								伐倒技術のチェックと改善
16 土									
17 日									
18 月									
19 火	36 林内路網(バックホー基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)								
20 水	36 林内路網(バックホー基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)								
21 木	28 チェーンソー伐木造材技術(JLC/WLC伐木競技から学ぶ安全技術)								
22 金	28 チェーンソー伐木造材技術(JLC/WLC伐木競技から学ぶ安全技術)								
23 土									
24 日									
25 月	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)					52 社会人教養(所得と税金)			
26 火	52 社会人教養(自己啓発)				31 境界管理			伐倒技術のチェックと改善	
27 水	31 境界管理								伐倒技術のチェックと改善
28 木	37 安全の基礎(リスクアセスメント実習)					50 就業体験(インターンシップ)	52 社会人教養(自己啓発)	伐倒技術のチェックと改善	
29 金	52 社会人教養(自己啓発)								
30 土									

10月

日\時限	1	2	
1 日			
2 月	50 就業体験(インターンシップ)		
3 火	50 就業体験(インターンシップ)		
4 水	50 就業体験(インターンシップ)		
5 木	50 就業体験(インターンシップ)		
6 金	50 就業体験(インターンシップ)		
7 土			
8 日			
9 月			
10 火	50 就業体験(インターンシップ)		
11 水	50 就業体験(インターンシップ)		
12 木	50 就業体験(インターンシップ)		
13 金	50 就業体験(インターンシップ)		
14 土			
15 日			
16 月	50 就業体験(インターンシップ)		
17 火	50 就業体験(インターンシップ)		
18 水	13 薪・木炭生産(薪・木炭、原木生産、視察)		
19 木	54 森林文化		
20 金	54 森林文化		
21 土	53 地域貢献活動(福島県林業祭)		
22 日			
23 月			
24 火	22 育苗(苗木の生産方法、特徴、生産現場視察)		
25 水	23 造林・更新(地拵え実習)		
26 木	23 造林・更新(植付実習)		
27 金	16 現場管理の基礎(提案型集約化施業、森林施業プランナー)		
28 土			
29 日			
30 月	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)		
31 火	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)		最先端の林業技術

凡例

- : チェーンソー・伐倒実習等
- : 路網作設実習
- : チェーンソー練習
- : バックホウ練習
- : プロによる指導
- : 改善を行った講義

11月

令和5年度

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	短期研修
1 水	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)							
2 木	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)							
3 金								
4 土								
5 日								
6 月	49 架線集材							路網整備と作業システム(実践)
7 火	49 架線集材							路網整備と作業システム(実践)
8 水	49 架線集材							路網整備と作業システム(実践)
9 木	49 架線集材							路網整備と作業システム(実践)
10 金	49 架線集材							
11 土								
12 日								
13 月	49 架線集材							
14 火	49 架線集材							
15 水	49 架線集材							
16 木	49 架線集材							
17 金	25 つる切、除伐、枝打等(枝打作業の流れと安全、枝打実習)							
18 土								
19 日								
20 月	34 縦断・横断測量(作業道作設における測量の基礎)		34 縦断・横断測量(縦断・横断測量実習)					
21 火	34 縦断・横断測量(縦断・横断測量実習、曲線部の測量実習)							
22 水	16 現場管理の基礎(現場の安全管理、費用、施業の収支)		28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)					
23 木								
24 金	34 縦断・横断測量(FRDによる設計実習)							
25 土								
26 日								
27 月	36 林内路網(路網の種類、作業道の規格、路網作設時の留意点、路線の選定)							
28 火	36 林内路網(踏査実習)							森林・林業でのドローン活用
29 水	36 林内路網(踏査実習)							森林・林業でのドローン活用
30 木	36 林内路網(バックホー基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)							森林・林業でのドローン活用

12月

令和5年度

1月

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	短期研修	日\時限	1	2	
1 金	36 林内路網(バックホー基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)								1 月			
2 土									2 火			
3 日									3 水			
4 月	36 林内路網(森林作業道作設実習)/(平坦地での掘削作業基本操作)								4 木			
5 火	36 林内路網(森林作業道作設実習)/(平坦地での掘削作業基本操作)								5 金			
6 水	36 林内路網(森林作業道作設実習)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)								6 土			
7 木	36 林内路網(森林作業道作設実習)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)								7 日			
8 金	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)								8 月			
9 土									9 火	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)		
10 日									10 水	36 林内路網(バックホー基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)		
11 月	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)								11 木	36 林内路網(バックホー基本操作)/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)		
12 火	28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)								12 金	37 安全の基礎(リスクアセスメント実習)	51 就業体験(インターンシップ)	52 社会人教養(自己啓発)
13 水	28 チェーンソー伐木造材技術(牽引具等の取扱)								13 土			
14 木	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)								14 日			
15 金	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)								15 月	52 社会人教養(自己啓発)		
16 土									16 火	50 就業体験(インターンシップ)		
17 日									17 水	50 就業体験(インターンシップ)		
18 月	28 チェーンソー伐木造材技術(伐木造材実習)								18 木	50 就業体験(インターンシップ)		
19 火	28 チェーンソー伐木造材技術(ロープワーク実習)								19 金	50 就業体験(インターンシップ)		
20 水	29 広葉樹伐木造材技術(針葉樹との違い、伐倒方法、特殊伐採)				29 広葉樹伐木造材技術(広葉樹の玉切り)				20 土			
21 木	29 広葉樹伐木造材技術(追いヅル伐り実習)								21 日			
22 金	29 広葉樹伐木造材技術(追いヅル伐り実習)								22 月	50 就業体験(インターンシップ)		
23 土									23 火	50 就業体験(インターンシップ)		
24 日									24 水	50 就業体験(インターンシップ)		
25 月	5 樹木学、樹木調査(識別実習(冬芽)、識別実習(丸太))								25 木	50 就業体験(インターンシップ)		
26 火	4 森林・林業政策(森林・林業・木材産業の現状と課題、基本法・森林法、森林計画制度、伐採届等)			28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)					26 金	50 就業体験(インターンシップ)		
27 水	52 社会人教養(自己啓発)			52 社会人教養(筆記試験)		52 社会人教養(自己啓発)			27 土			
28 木									28 日			
29 金									29 月	50 就業体験(インターンシップ)		
30 土									30 火	50 就業体験(インターンシップ)	52 社会人教養(自己啓発)	
31 日									31 水	35 高性能林業機械運転技術(機械のトラブル、メンテナンス、作業環境整備)		

凡例

- オレンジ色 : チェーンソー・伐倒実習等
- 青色 : 路網作設実習
- 黄色 : チェーンソー練習
- 水色 : バックホウ練習
- 赤色 : プロによる指導
- ピンク色 : 改善を行った講義

2月

令和5年度

3月

令和5年度

日\時限	1	2	3	4	5	6	7	短期研修	日\時限	1	2	3	4	5	6	7	短期研修
1 木	35 高性能林業機械運転技術(スイングヤーダ実習)(メンテナンス実習含む)							伐倒技術の指導者育成	1 金	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)/先端林業技術							
2 金	35 高性能林業機械運転技術(スイングヤーダ実習)(メンテナンス実習含む)								2 土								
3 土									3 日								
4 日									4 月	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)/先端林業技術							
5 月	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブプル実習)(メンテナンス実習含む)								5 火	52 社会人教養(プレゼンテーションスキル)			52 社会人教養(プレゼンテーション実習)				
6 火	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブプル実習)(メンテナンス実習含む)								6 水	52 社会人教養(プレゼンテーション実習)			52 社会人教養(環境整備)				
7 水	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブプル実習)(メンテナンス実習含む)								7 木	52 社会人教養(林業就業に向けて)							
8 木	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブプル実習)(メンテナンス実習含む)								8 金	51 オリエンテーション(修了式)							
9 金	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブプル実習)(メンテナンス実習含む)								9 土								
10 土									10 日								
11 日									11 月								
12 月									12 火								
13 火	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブプル実習)(メンテナンス実習含む)								13 水								
14 水	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブプル実習)								14 木								
15 木	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブプル実習)								15 金								
16 金	35 高性能林業機械運転技術(プロセッサ/フォワーダ/グラブプル実習)								16 土								
17 土									17 日								
18 日									18 月								
19 月	30 素材生産総合技術(機械概論、機械と路網の関係、作業システムと工程管理)								19 火								
20 火	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)/先端林業技術								20 水								
21 水	52 社会人教養(ファミリーテーション実習)								21 木								
22 木	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)/先端林業技術								22 金								
23 金									23 土								
24 土									24 日								
25 日									25 月								
26 月	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)/先端林業技術								26 火								
27 火	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)/先端林業技術								27 水								
28 水	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)/先端林業技術								28 木								
29 木	20 ハーベスタシミュレータートレーニング/28 チェーンソー伐木造材技術(伐倒練習機等を用いたチェーンソーの基本操作)/先端林業技術								29 金								
									30 土								
									31 日								

凡例

- : チェーンソー・伐倒実習等
- : チェーンソー練習
- : プロによる指導
- : 路網作設実習
- : バックホウ練習
- : 改善を行った講義

令和5年度林業アカデミーふくしま短期研修 実績 (R5.7月末時点)

No.	講座名	開催日時	研修日数	研修目的・必要性	主な対象者	定員	出席者 合計	方部別						所属別					
								県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	市町村	事業体	関係団体	県職員	その他
1	森林・林業の基礎	令和5年4月24日～25日	2日	地域の森林・林業の中心的役割を担う市町村林務担当職員等を対象に、森林・林業に関する基礎的な知識を習得させ、担当業務を円滑に遂行できる職員を育成する。	市町村林務担当職員等 (初任者レベル)	20	15	3	5	2	1	1	1	2	10	5			
2	森林整備事業の実務	令和5年5月11日	1日	森林・林業行政の推進を図るため、森林整備の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	市町村林務担当職員等 (実務担当者)	20	10		5	2				2	1	10			
3	森林計画制度 (兼)林業職員新任者研修	令和5年5月24日～25日	2日	森林・林業行政の推進を図るため、森林計画制度の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	市町村林務担当職員等 (実務担当者)	20	17	2	5	2	2	1	4	1	11	2			4
4	森林土木事業の実務	令和5年5月29日～30日	2日	森林土木事業の監督業務、積算業務等に必要な知識を習得させ、森林土木事業の実務ができる職員を育成する。	・市町村林務担当職員 (実務担当者)	20	9	1	2	1	3			2		7	1		1
5	測量・森林調査の基礎 (兼)林業職員新任者研修	令和5年6月6日～7日	2日	測量（コンパス測量、レベル測量、ポール測量）の現場実習等を通じて測量機器の取り扱い、測量手法、図面の作図などの実務及び樹木測定等の調査ができる職員を育成する。	・市町村林務担当職員等 (実務担当者)	12	20	2	1	3	8	1	2	3	7	5	1		7
6	高性能林業機械の操作	令和5年7月10日 (AM・PM)	1日	ハーベストアシミュレーター機器を使用し、高性能林業機械の特性や安全な操作方法に関する基礎的な知識及び技術を習得させ、効率的かつ安全に作業が行える技術者を育成する。	林業従事者 等	6	2		2										2
7	森林経営管理制度の実務 (市町村対象)	令和5年7月18日～19日	2日	森林経営管理制度に関する事務を円滑に進めるため、意向調査の実施、経営管理権集積計画の作成、経営管理実施権配分計画の作成等を遂行する上で必要な知識を習得させ、適切かつ円滑に運用できる者を育成する。	市町村林務担当職員 (実務担当者)	20	15	2	8		3		2		12				3
8	路網整備と作業システム（基礎）	令和5年7月24日～25日	2日	路網整備と作業システムに関する基礎的な知識及び技術の習得により、地域における効率的な施業方法を計画・実行できる技術者を育成する。	市町村林務担当職員 (実務担当者) 及び林業従事者 等	20	15	4	3		4		1	3	2	9	1		3

No.	講座名	開催日時	研修 日数	研修目的・必要性	主な対象者	定員	出席者 合計	方部別							所属別				
								県 北	県 中	県 南	会 津	南 会 津	相 双	い わ き	市 町 村	事 業 体	関 係 団 体	県 職 員	そ の 他
9	森林経営管理制度の実務 (林業事業者対象)	令和5年8月21日	1日	森林経営管理制度に関する事務を円滑に進めるため、意向調査の実施、経営管理権集積計画の作成、経営管理実施権配分計画の作成等を遂行する上で必要な知識を習得させ、適切かつ円滑に運用できる者を育成する。	林業従事者 等	20													
10	提案型集約化施業実践 ※森林施業プランナー協会認定 1次研修に該当（予定）	令和5年9月4日～7日	4日	森林所有者に対する施業提案書の作成や提示、森林施業の集約化ができる、森林経営計画作成の中核を担う技術者を育成する。	森林施業プランナーを 目指す者 等	12													
11	伐倒技術のチェックと改善	令和5年9月12日～15日 令和5年9月26日～28日	7日	伐倒作業時の労働災害防止に向け、チェーンソーによる安全かつ正確な伐倒技術を有する技術者を育成する。	林業従事者 等 ※伐木等の業務に係る 特別教育修了者	3													
12	最先端の林業技術	令和5年10月31日	1日	森林施業の効率化・省力化を可能にするため、ICT等の最新の林業技術を習得させる。	市町村林務担当職員及 び林業従事者 等	15													
13	路網整備と作業システム（実践）	令和5年11月6日～9日	4日	現地に適合した路網整備と作業システムの構築に必要な知識及び技術を習得し、素材生産性の向上に向けた指導ができる技術者を育成する。	森林作業道開設に関する 指導者を目指す者	10													
14	森林・林業でのドローン活用	令和5年11月28日～30日	3日	ドローン等技術の活用により、森林整備事業の実施に係る申請・検査の省力化、森林情報の管理体制の強化及び効率化を図るため、ドローンの操縦技術や撮影、画像解析等の技術を習得する。	市町村林務担当職員及 び 林業従事者 等	12													
15	伐木技術の指導者養成	令和6年1月16日～18日 令和6年1月30日～2月1日	6日	伐倒作業時の労働災害防止に向け、チェーンソーによる安全かつ正確な伐倒技術を有する指導者を育成する。	林業従事者 等 ※伐木等の業務に係る特別教育 修了者、R4「安全な伐倒作業技 術」及びR5「伐倒技術のチェッ クと改善」の受講者	3													

令和5年度林業アカデミーふくしま 短期研修
実施状況写真①



森林林業の基礎

R5.4.24~25



同上



同上

令和5年度林業アカデミーふくしま 短期研修
実施状況写真②



測量・森林調査の基礎

R5.6.6~7



同上



森林経営管理制度の実務
(市町村対象)

R5.7.18~19